



施工取扱説明書

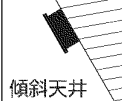
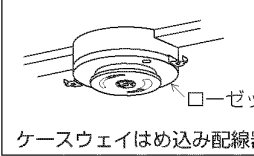
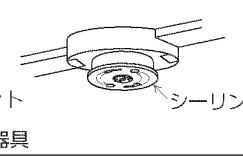
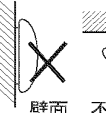
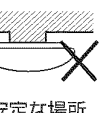
型番 AH39652L・AH39653L・AH39654L・AH39655L・AH39656L
AH40659L・GH41511L・GH41512L・GH41513L・GH41514L
GH41515L・GH41516L

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
 厳守 器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。       ケースウェイはめ込み配線器具 ●配線器具の出しろが少ないもの   シーリングボディ 20mm未満   埋込ローゼット 10mm未満   フルフックシーリング 20mm未満   フルフック埋込ローゼット 8mm未満 ●破損している   ヒビ割れ 欠けている グラスキや ガツキ ●電源端子露出形  電源端子
 禁止 このような場所には取付けないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。     傾斜天井 壁面 不安定な場所 補強のない場所	 禁止
 分解禁止 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	
 禁止 器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。 器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。 埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。  厳守

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と 合わせて大切に保管してください。
< 保証について > 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 3. ランプ(LED電球含む)・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 a 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 s お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 d 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 f 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 g 施工上の不備に起因する故障や不具合 h 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 j 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		<アフターサービスについて> 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載の「コイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンター」にお問合せください。
保証期間(お引き渡し日より)本体：1年間 安定器・LED電源/モジュール：3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お買上年月日		
お	お名前	
客	ご住所	
様	電話 ()	

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

取説No. C117-772 TT/S・T

⚠ 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
🚫 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため 触らないでください。 →やけどの原因になります。	🚫 禁止	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
🚫 水ぬれ禁止	この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外 では使用できません。 →火災・感電の原因になります。		器具の下にストーブなどの高温のものを置か ないでください。また、燃えやすいものを近づ けて使用しないでください。 →火災の原因になります。
🚫 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必 要です。調光器の取外しには資格が必要です。 工事店・電器店に依頼してください。	❗ 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AH40659L・GH41511L	AC100V	0.61A	58W	LED
AH39655L・GH41512L		0.49A	46.5W	
AH39656L・GH41513L		0.43A	40.3W	
AH39652L・GH41514L		0.57A	54W	
AH39653L・GH41515L		0.50A	47.6W	
AH39654L・GH41516L		0.40A	37.6W	

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼してください。火災・感電の原因になります。

1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取付けられている
配線器具が確実に固定されているか
確認する。

シーリングボディ

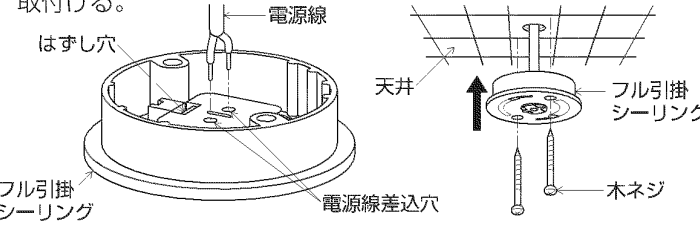
フル引掛
シーリング

埋込ローゼット

フル引掛
ローゼット

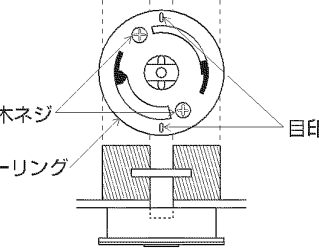
2 配線器具がついていない場合

付属のフル引掛シーリングを木ネジで天井に確実に
取付ける。



電源線
はずし穴
天井
フル引掛
シーリング
電源線差込穴
木ネジ

※目透かし天井に
取付ける場合は、
目印を目透かし
方向に合わせて
取付ける。



木ネジ
フル引掛シーリング
目印

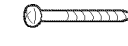
※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

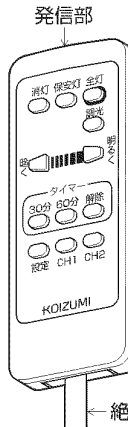
■取付手順 ⚠ 注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

〈付属部品〉

フル引掛シーリング・・・1個

木ネジ・・・・・・・・・・2本



発信部

消灯 保留灯 全灯
開け 閉め
タイマー
30分 60分 解除
設定 CH1 CH2
KOIZUMI

リモコン送信機・・・・・・1個
(リチウム電池内蔵)



絶縁シート
※ご使用前に引き抜いてください。

取説No. C117-772 TT／S・T

－2－

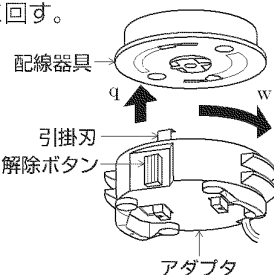
－3－

取説No. C117-772 TT／S・T

1 アダプタを配線器具に取付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、"カチッ"と音がするまで右に回す。

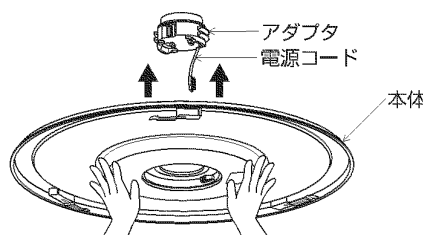
⚠ 警告 解除ボタンを押さずに左に回し、はずれないことを確認してください。アダプタの取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



2 本体を取付ける

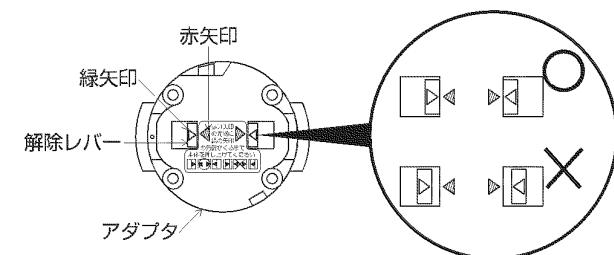
q 本体の穴に電源コードを通す。
w 本体をアダプタに合わせて押し上げる。

※本体の中央付近を押して、確実に取付けてください。



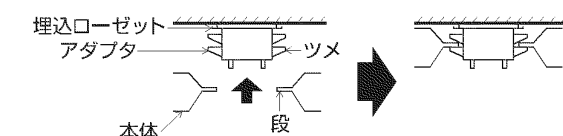
※本体の取付けは<埋込ローゼットの場合>、<その他の配線器具の場合>をご覧ください。

⚠ 警告 解除レバーの緑の矢印の先端が、アダプタの赤い矢印の先端にくるまで本体を押し上げてください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



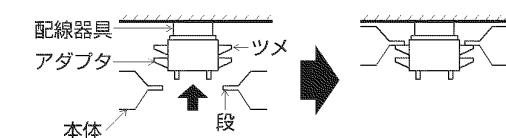
<埋込ローゼットの場合>

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように1段階押し上げる。

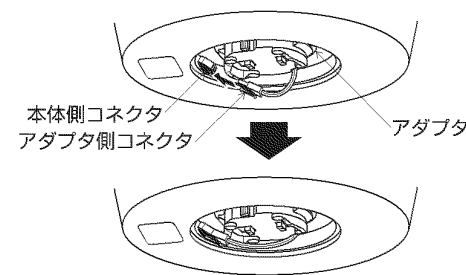


<その他の配線器具の場合>

2段階押し上げる。
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。

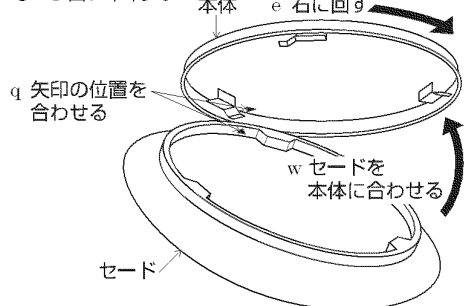


3 コネクタを接続する



4 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、"カチッ"と音がするまで右に回す。



⚠ 警告 セードが確実に取付いたことを確認してください。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。

5 点灯の確認を行なう

■取外手順

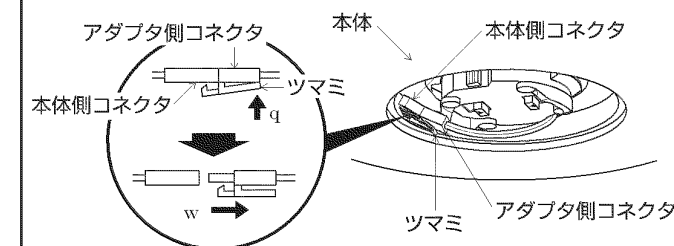
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

セードを"カチッ"と音がするまで左に回して取外す。

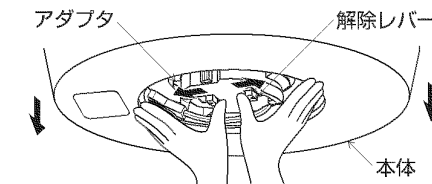
3 コネクタを取外す

アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



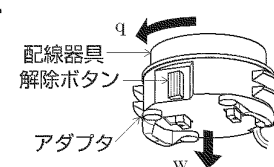
4 本体を取外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを外側に広げ、本体を取外す。



5 アダプタを取外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取外す。

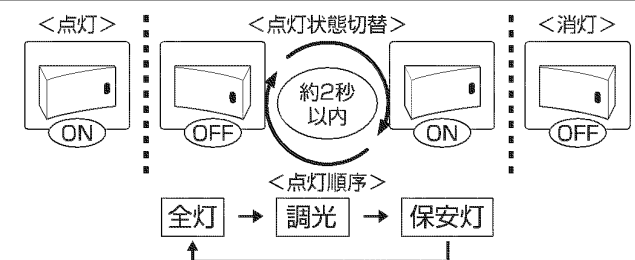


■壁スイッチで操作する (ブルース操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
 - ・壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。リモコン送信機で消灯した状態で壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにしても消灯状態のままです。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をブルース操作することは避けてください。
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態で一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。)
- 出荷時、調光は60%、保安灯は100%に設定されています。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチの使用は4個(5路配線)までとしてください。5個(6路配線)以上使用されますとブルース動作が正常にはたらかない場合があります。
壁スイッチを5個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。



※調光は、調光の前回点灯状態
保安灯は、保安灯の前回点灯状態

■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

消灯ボタン

消灯します。

調光(明るく・暗く)ボタン

点灯時の明るさを調節できます。
主光源(100%~約1%)、保安灯(4段階)をお好みの明るさに調節できます。
(周囲温度約25℃時)
※調光状態は、室温、器具状態によって多少変化します。

30分オフタイマーボタン

30分後に消灯します。

設定ボタン

器具側とリモコン送信機のチャンネルを切り替える場合に使用します。
※出荷時、チャンネル1に設定されています。

保安灯ボタン

前回の保安灯点灯状態で点灯します。
※出荷時、保安灯は100%に設定されています。

全灯ボタン

100%で点灯します。

調光ボタン

前回の調光点灯状態で点灯します。
※出荷時、調光は60%に設定されています。

解除ボタン

タイマーが解除されます。

60分オフタイマーボタン

60分後に消灯します。

チャンネルボタン

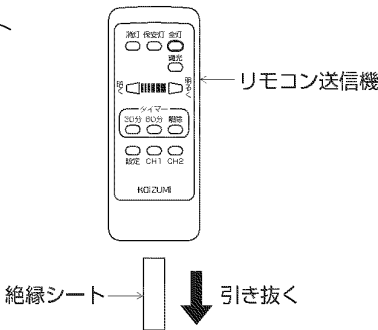
2台の器具を個々に操作する場合に器具側のチャンネルと合わせます。
※出荷時、チャンネル1に設定されています。

絶縁シート

ご使用前に引き抜いてください。

2 ご使用前に

お買い上げ時は付属のリチウム電池がリモコン送信機に内蔵されています。
電池の消耗を防ぐために絶縁シートが挟み込まれていますので、絶縁シートを引き抜いてご使用ください。



3 チャンネルの設定について

<1台または2台の器具を同時に操作する場合>

出荷時、器具とリモコン送信機はチャンネル1に設定されていますので、そのままご使用できます。

※器具間の距離やリモコン送信機の向きにより、2台が同時に点灯しないことがあります。

<2台の器具を操作する場合>

どちらか一方の器具にリモコン送信機を向け、設定ボタンを押しながらチャンネルボタン(CH1またはCH2)を2秒以上長押しすると器具とリモコン送信機のチャンネルを1または2に設定できます。

※器具のチャンネルを切り替えると確認音(ピピピピ)が本体よりします。

※器具のチャンネルが1のときに、再度設定ボタンを押しながらチャンネルボタン(CH1)を2秒以上長押しすると、全灯状態になり、調光設定が出荷時の状態に戻ります。確認音(ピピピピ)が本体よりします。

※器具間の距離が短い場合、片側のみ設定したいが両方同時に切り替わる時があります。その場合は、設定しない側のアダプタのコネクタを抜いてください。その際、セードを外す必要があります。

リモコン送信機のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合うときは、チャンネルボタン(CH1またはCH2)のみを2秒以上長押しするとリモコン送信機のみチャンネルを1または2に設定できます。

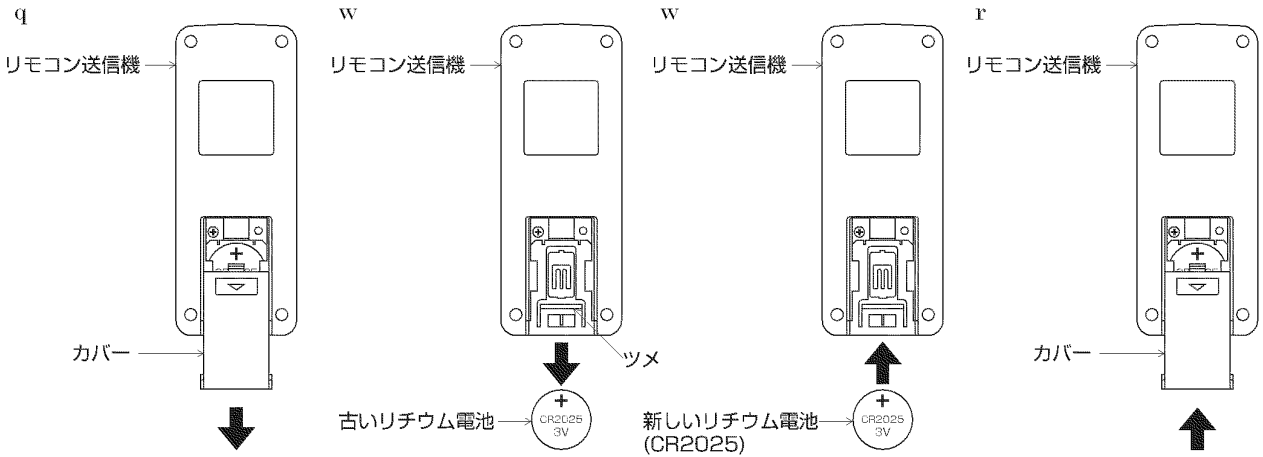
※本体から確認音はしません。

■リモコン送信機について

1 リモコン送信機の電池交換をする場合

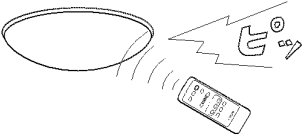
- q リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- w ツメを押しながら古いリチウム電池を取外す。
- e 新しいリチウム電池(CR2025)の極性表示(+)面を外側に向けて入れる。
- r カバーを取付ける。

お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



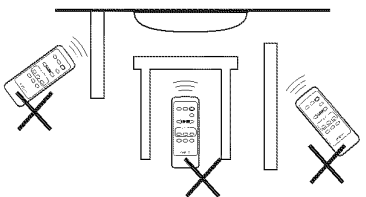
2 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。

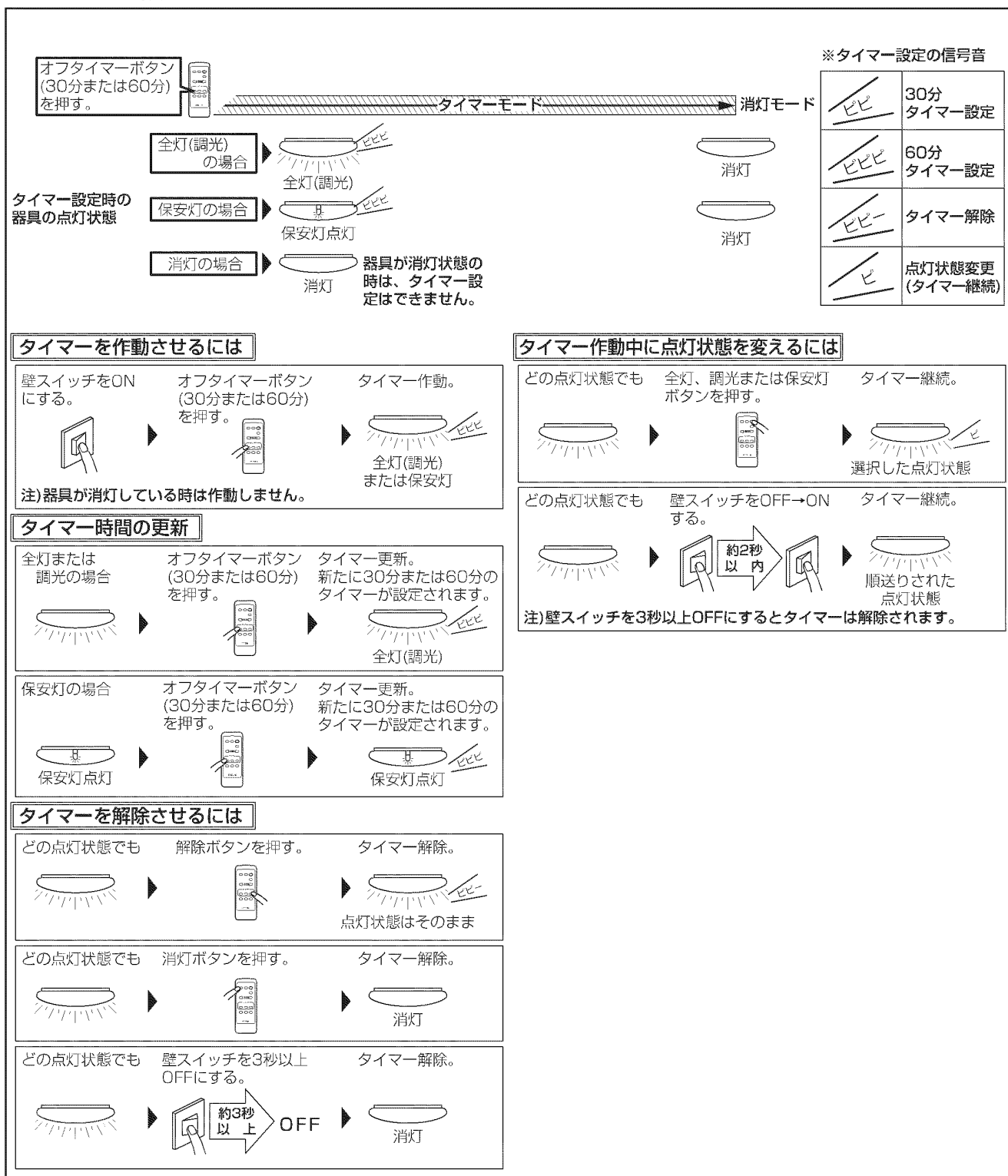


3 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日50回の常温使用で約1年です。
使用する電池や条件により、1年未満で消耗することがあります。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高温になるものの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。
しゃへい物をさけて再度ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■タイマーの設定について



修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、別紙サービスセンターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現 象	考えられる原因	処 置
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない	ブルレス操作が確実に出来ていない	電源のON・OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合、操作を確実にこなってください (2秒以内のOFF→ON)
リモコン送信機で照明器具を操作できないまたは、点灯しない	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
	リモコン送信機の電池の極性⊕⊖が間違っている	電池を正しく入れる
	リモコン送信機の電池が切れている	電池を交換する
	照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない	照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(説明書の■リモコンで操作するをご確認ください)
リモコン送信機で消灯したのに照明器具が点灯している	リモコン送信機で消灯してから壁スイッチをOFF→ONにした	再度、電源が入ると消灯する前の状態で点灯するようになっています (お出かけの際は、壁スイッチをOFFにしてください)
	消灯中に、停電が起こった可能性があります	

■LEDユニットについて

- ・明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- ・LEDのみの交換はできません。
- ・LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- ・LEDにはバツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■使用上のご注意

- ・照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- ・器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- ・器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- ・壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- ・停電などでブルレス操作が働き、明るさが切替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどでお好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- ・点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- ・パイロットスイッチ(電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯が微かにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- ・明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- ・器具の汚れは乾いた柔らかい布が薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のものでも拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。